

7 年 生 国 語 科 学 習 指 導 案

実施日時 令和元年6月21日(金)
 附属義務教育学校7年3組 授業者 永野信吾

1 単元名 漢字の音訓

2 本時の学習

(1) 目 標 漢字が日本に伝えられた背景を知り、漢字の読みの多様性について理解する。

(2) 展 開

学習活動と予想される子どもの反応	指導上の留意点（・）と支援（◎）
1. 本時の目標と流れを確認する。	◎目標と流れを黒板に示す。
漢字が伝えられた背景と音読み・訓読みの違いを理解する。	
2. 教科書を読み、漢字が伝えられた背景と音読み・訓読みの違いを理解する。 「星」……なぜ「セイ」と「ショウ」のように複数の読み方があるのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「訓」……その字のもつ意味を表す日本語の言葉をあてた読み方。 ・「音」……その字の中国語の発音をもとにした読み方。 ◎漢字を受け入れた時期やどの地域から伝わったかによって、いくつかの音をもつことを説明する。 ◎書画カメラを使って実際の漢字辞典を提示し、「呉音」「漢音」「唐音」の見方を説明する。
3. 漢和辞典の使い方について説明を聞く。 「どこから探していいかわからない。」	<ul style="list-style-type: none"> ・音訓索引・部首索引・総画索引を上手に利用して探すよう声がけをする。
4. 練習問題を解く。 （教科書P. 134『練習問題』）	<ul style="list-style-type: none"> ・解答はノートに書くよう指示する。 ・2は——線部の訓を使って解く問題であることを確認する。 ◎二字の熟語は一文字目を探すと、その字を使った熟語を見つけやすいことを、書画カメラを使って紹介する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">評価の観点（言葉の特徴や使い方）</p> <p style="text-align: center;">漢字の音・訓について理解し、読み分けることができる。</p> <p style="text-align: center;">【 評価方法 発表・ノート 】</p> </div>
5. ふりかえりを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読みが複数あることの原因を知って、どのような感想をもったか、自分の考えをまとめるよう促す。

(3) 評価

十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	努力を要する状況の手立て
漢字の音・訓に関心をもち、漢字の理解を深めようとしている。	漢字の音・訓について理解し、読み分けている。	学習の内容を振り返ると共に、漢和辞典の使い方を振り返らせ、自力で漢字を読むことができるように促す。